

平成 24 年度高校向け「文系チャレンジ講座」（目的 高校生に学問を学ぶ楽しさを伝えることで、進路選択の道しるべとする）

遠隔配信対象高校 大分雄城台，大分鶴崎，大分商業，日田，安心院 来学受講対象高校 左記以外で希望する高校

対象学年 主として 2 年生（学校によっては他学年が参加することもある）

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
1	5/16（水） 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 教授 松尾 純廣	現代社会と企 業の変化	この授業は、大学の「経営学」という講義について説明します。「経営学」は、主として「企業」のしくみや活動についての学問です。「企業」は、「ビジネス」（事業）を行うことによって生きています。ところが、「ビジネス」は「社会」とともに変化していきます。現在は「社会」と「ビジネス」が大きく変化している時代だといわれています。そうした変化の時代（「イノベーション（革新）」の時代）の「企業」のしくみや活動はどうなっているのかについて説明いたします。
2	6/20（水） 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 教授 西村 善博	統計について 考える	まず、「統計」と聞いて皆さんは何をイメージしますか。数字、グラフ、数学などでしょうか。この講座では、いろいろなイメージがあると思われる統計についての理解を深めることを目的に、いくつかの統計を例示して、授業を進めることにしたいと思います。 たとえば、日本全国の人口、平均出生率、GDP を並べてみる。これらは、ある時点の人口や出生率、経済力を表していますが、定義から理解しようとする、いくつかの点をおさえる必要があります。さらに、それらがどのようにして作られるかを考えると、より深く理解できると思います。
3	7/18（水） 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 准教授 青野 篤	憲法と私たち	普段私たちは、憲法の存在をあまり意識することなく暮らしています。では、憲法って一体何のためにあるのでしょうか。どんなことに役立っているのでしょうか。また、憲法の改正について話題になることがあります。憲法を変えれば私たちの暮らしはよくなるのでしょうか。この講義では、憲法という法の基本的な考え方や役割、限界などについて、できるだけ分かりやすくお話したいと思います。
4	9/19（水） 16.30-17.30 経済学部 203号	教育福祉科学部 准教授 甘利 弘樹	人・モノの「移 動」から見る 世界史	「歴史」と聞くと、「過去のこと」とか、「たくさん覚えることがある」というイメージがあると思います。確かに歴史はそのような一面があります。しかし、皆さんが自ら歴史を学んで生かすためには、歴史のダイナミックな側面、デリケートな側面を見だし、意識することが大切です。この講義では、国境や文化の差異のような境界を越えて世界を移動した人々やモノをトピックにしながら、世界レベルの歴史を生き生きと捉え、考えていきます。その過程で、歴史を意識しながら現代そして未来を生きる意義を感じ取ってもらうことを願っています。

5	10/17 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 准教授 加藤 典生	簿記を味わおう	皆さんは、「簿記」というと、すぐに各種資格試験（公認会計士や税理士、簿記検定）を思い浮かべるのではないのでしょうか。あるいは、企業経営のためだけに簿記があると思っている人も多くいるのではないのでしょうか。実は、簿記はいろいろな分野に深く関わっています。たとえば、簿記の美しさに魅了された数学者や小説家たちもいます。この授業では、検定試験の勉強とは違った点、特に文学、美術、数学、歴史、経済学などの関係から、簿記について考え、簿記を味わってみたいと思います。
6	11/21 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 准教授 宇野 真人	経済学と現実経済との関わりについて～経済成長を例として～	世界には先進国、中進国、後進国など、所得の大きさの違いや成長度合いによって国が色分けされています。そしてどの国も成長したいと思っています。そこで成長をするためにはどのような方法をとればよいのか？ということが重要になってきます。経済学を知ることによって経済成長を促すためには如何にすべきか？という方法がわかってきます。具体的には現実の国別成長データを眺めながら経済を成長させるには何が必要になってくるのか？ということ进行考察し、その話の中で経済学と現実経済の関わりについて紹介していこうと思っています。
7	12/19 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 准教授 大呂 興平	問題:「日本はTTPに参加すべきですか？」	皆さんが社会に出て直面するであろう問題は、高校までの勉強の、あらかじめただ1つの解答が与えられている「問題」とはちがひ、単純な答えがなく様々な意見が錯綜する、とても複雑な問題です。そうした問題に向き合うためには、問題を客観的かつ多面的に捉えられる、たしかに「見方」を身につけなければなりません。大学で学ぶことの大きな目的の1つは、こうした「見方」を身につけることです。本講義は、「日本がTPPに参加すべきか」といった時事的な「問題」を考えてみることを通じて、こうした「見方」の重要性を実感してもらいます。
8	1/16 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	教育福祉科学部 教授 土居 晴洋	五感で楽しむ「地理学」	「地理」というと「暗記物」と考える人が多いかもしれません。しかし、本来「地理学」は楽しいのです。その楽しさは、ある地域や国などの場所を五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）で感じることにあります。本当は外国などのどこか屋外でできればいいのですが、このチャレンジ講座ではそうもいきません。五感で何を感じることができるのか、また感じたことが何を意味するのか、少しまじめに考えてみましょう。皆さんは五感を研ぎ澄ませてのぞんで下さい。